

沼の魚たちはどこから来たの？

市内の所々に分布する沼や貯水池。周囲に草木が茂り、遠目ではわかりませんが、緑苑台の発寒川沿いの沼(地図上①)、五の沢の農業用貯水池(同②)、石狩浜の石狩斎場裏の沼(同③)など、地図上でも確認できます。

これらは人為的にできた沼、貯水池ですが、果たして魚が生息するのか、網を入れて調べてみました。その結果、緑苑台の発寒川沿いの沼ではイバラトミヨ、五の沢貯水池ではヨシノボリ(ともに石狩自然誌研究会巡検調査にて確認)、石狩



本文中に出てくる
沼・貯水池の位置(石狩地域図)

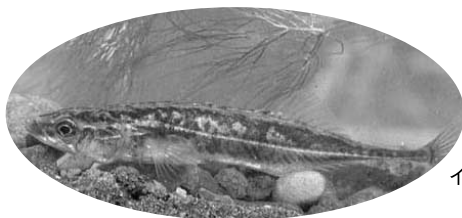
浜の石狩斎場裏の沼ではドジョウが確認されました。これらの魚は、茨戸川はじめ、石狩平野の河川湖沼では普通に見られる種です(捕らえた種以外にも生息する可能性は十分あります)。

しかし、人工的にできた沼や貯水池に、どのようにして魚が生息するようになったのでしょうか。

緑苑台の沼は、昔の地図をたどると、川とつながっていたことがわかります。沼に生息するイバラトミヨは、そのころ川に生息していたものが、河川改修により分断された時に取り残されたものと考えられます。

五の沢貯水池は、水田へ水を供給する農業用ダムです。水の放出口は、高いコンクリート壁になっていて、魚が下流の用水路から遡上(さかのぼ)してきても、上れるものではありません。ところが、ヨシノボリは、胸鰭(むなびれ)が吸盤のようになっているの

で、この吸盤でコンクリートの壁にくっつくことができます。こうして下流の川から貯水池まで上つて来ることができたのでは、と想像できます。



イバラトミヨ



ヨシノボリ



ドジョウ

※いずれの場所も危険ですので
むやみに立ち入らないください

併せてご覧ください

緑苑台の沼については、広報(平成16年10月号)いしかり博物誌第59回でも紹介しています。

http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/hakubutushi/ha_059.htm

■文化財課・いしかり砂丘の風資料館 ☎62-3711

✉i-museum@bz01.plala.or.jp

■石狩浜海浜植物保護センター ☎60-6107

✉ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

(内藤華子)

大募集!!

●広報紙への感想や批評、市への質問など何でもお寄せください。
※匿名希望の場合もお便りには名前・住所・電話番号を必ず明記してください。
〒061-3292 石狩市役所 広報いしかり 係
☎72-3153 ☎74-5581 ✉PR@city.ishikari.hokkaido.jp



センサスクン
国勢調査のイメージキャラクター。調査対象は赤ちゃんから高齢者まで1人の漏れもなく一ということから誕生しました。

住みよいまちづくりにつながる国勢調査

Q 国勢調査とはどのような調査で、なぜ必要なのですか？

A 平成17年10月1日、全国で一斉に国勢調査が実施されます。国勢調査は、日本に住むすべての人を対象とした国の最も基本的な統計調査で、5年ごとに行われています。目的は国内の人口や世帯の実態を明らかにすること。国や地方公共団体の各種行政施策の策定・実施および議員数の決定、地方交付税の配分などには、人口はもちろん、男女の割合や年齢、配偶者数などの把握が必要です。国勢調査はそのような行政を適切に進める上で、なくてはならない資料となっています。

教えて! 市役所

市民の皆さんから寄せられた声をもとに、市役所からご提案するコーナーです。よりよいまちづくりを目指し、今後も市民の皆さんからの市政に対する要望や提案をお待ちしています。

●調査票には正確かつ間違いのない回答を

石狩市では、22、300世帯、約56、300人に及ぶ大規模な国勢調査となりますが、調査の適正かつ円滑な実施を図るため、助役を本部長とする「平成17年国勢調査石狩市実施本部」を7月1日に設置。9月下旬から、総務大臣から任命された調査員が各世帯を訪問し、調査票を配布します。というわけで、一人の漏れも重複もなく、正確な統計を作成するため、調査票の郵送による届けは行いませんので、ご了承ください。

調査するのは家族全員の氏名・出生の年月・就業状況など、全部で17項目。記入内容をほかに漏らしたり、統計以外の目的に使用することは法律で固く禁じられています。徹底した守秘義務でプライバシーが保護されてい

ますので、くれぐれも間違いのないようご回答ください。調査票は後日、調査員が集めに伺います。●対象は日本に住むすべての人。赤ちゃんや旅行者も含まれます

調査対象者には旅行などで一時留守にしている方や長期滞在している方、生まれたばかりの赤ちゃんも含まれます。さらにアパートなどで一人暮らしをしている方や下宿をしている方も、一人ひとりご記入ください。調査の結果は平成17年12月下旬に、速報値(要計表による人口集計)として、市区町村別男女別人口および世帯数が公表されます。国勢調査への、ご理解とご協力をお願いします。

国勢調査に関するお問い合わせは、平成17年国勢調査石狩市実施本部事務局(文書・統計担当) ☎72・3681へお願いします

国勢調査は環境にも配慮しているって本当?

各世帯に配布する「調査票の記入のしかた」をはじめ、調査員の仕事を解説した「調査の手引」など、国勢調査では数多くの調査書類を作成するため、膨大な量の紙を使用することになります。

そのため、国勢調査の調査書類の作成には可能な限り再生紙を使っています。また、集計が完了し、保存期間を経過した調査票は溶解処分を行い、再び再生紙として利用されています。多くの紙を使用することになる国勢調査では、このような形で資源の有効利用を実践し、地球環境の保全に配慮しています。

